

大船渡市農地利用最適化推進委員の応募状況（中間公表）

【応募状況】

No.	応募者									
	氏名	住所 (地区名)	職業	年齢	性別	経歴	農業経営状況	認定農業者等の 該当・非該当	農業委員への 推薦・応募	応募理由
1	根内 孝	三陸町 綾里	無職	74	男	S45.3～H13.9 株式会社アマタケナック H14.4～R4.6 株式会社高田ポトリー R5.11.20～現在 大船渡市農業委員会農地利用最適化推進委員	・営農年数 0年	非該当	無	世はデジタル時代。パソコンはもとより、スマホも様々なアプリで自由に使いこなせないと肩身がせまい。そしてAIの進化がとどまるところを知らない。「誰も地上の星」など見てない。泥くさい農業など。 だが待てよ…今度はアメリカとイラン戦争…やはり世界は地球地下資源の原油なしでは生活できないんだということ。そして穀物、食料なくしては、やはり生活できない。 第1次産業の農林漁業を軽視する時代だからこそ、食を守る人材もまた重要であります。
2	中嶋 敬治	日頃市	農業	69	男	S50.4.1～H31.3.31 公立小学校事務職員 H16.4.1～H18.3.31 岩手県環境審議会委員 R5.11.20～現在 大船渡市農業委員会農地利用最適化推進委員 R7.4.1～現在 大船渡市立博物館協議会委員 R8.4.1～現在 大船渡市スポーツ推進委員 H8.4.18～現在 大船渡地区公共事業等に係る希少野生動物調査検討委員会委員	・営農年数 40年 (市内) ・主な作物 自家消費用水稻・ 野菜・果樹 ・耕作面積 100a	非該当	無	後継者不足から離農する農家が増え、耕作放棄地や休耕地が拡大し、イノシシやニホンジカの食害を招く誘因にもなっています。獣害から農地・農業生産を守るためには、地域全体で対応することが必要です。 1期3年間委員として活動いたしましたが、農地の利用の仕方を広域で根本的に考え直すことが求められていると感じました。 農地としての利用が困難な地域は、ほかの用途への転換利用も考えることが重要と考え、その一助となればと思い、再度委員に応募いたします。
3	今野 隆弘	立根	無職	69	男	S57.4.1～H10.3.31 県内公立小学校教諭 H10.4.1～H19.3.31 県内公立小学校教頭 H19.4.1～H29.3.31 県内公立小学校校長 H30.4.1～H31.4.7 きっぴん学童クラブ支援員 R1.6.19～R2.3.31 吉浜こども園園長	・営農年数 35年 ・主な作物 米、ピーマン、 なす ・耕作面積 35a (市内30a)	非該当	有	私は、立根地区で小規模ながら、水稻や野菜等を作って暮らしてきましたが、周囲の農地は高齢化や離農により減少し、遊休地になっている現状です。 農業委員に応募したのは、農地の状況、農業の担い手の現状を把握して、農地の集積と集約化に取り組んでみたいからです。また、農業従事者が安心して農業ができる環境づくりと新規就農者の確保にも力を入れ、当市の農業が持続可能で発展できるよう、貢献したいと考えたからです。
4	佐藤 幾子	大船渡	会社役員	72	女	S49.4.1～H25.2.28 大船渡市農協職員 H25.3.1～現在 有限会社グリーンセンター荒井 R2.11.20～現在 大船渡市農業委員会農地利用最適化推進委員	・営農年数 0年	非該当	無	令和2年11月20日より農地利用最適化推進委員に任じられ活動して、ただいま2期目ですが、担当地区の耕作放棄地や休耕地が年々増加する現状を何とかしたい、ほかの委員達と知恵を出し合い、緑豊かな農地に変えるお手伝いをしたいと思い、再度応募いたしました。
5	尾形 キヨシ	末崎	農業	72	女	S47.4.1～S56.10 鞆浦製材所 S56.11～現在 農業 R2.11.20～現在 大船渡市農業委員会農地利用最適化推進委員	・営農年数 44年 ・主な作物 玉ねぎ、さつまいも、 野菜苗 ・耕作面積 20a (市内15a)	非該当	無	現在2期農地利用最適化推進委員として活動しています。 研修、視察等参加して、活動状況等少しではありますが理解できるようになったと思います。 他地域同様、大船渡市も農業者の減少、高齢化による遊休農地が増加傾向にあります。微力ながら遊休農地の解消、有効活用を進めることに貢献したいと思っています。
6	金野 たか子	盛	無職	73	女	S46.4.1～H27.3.31 社会福祉法人立根厚生会立根保育園 H29.11.20～現在 大船渡市農業委員会委員	・営農年数 0年	非該当	有	農業委員として、9年間農地の現状を学びました。 農業をしていない女性の立場からこの貴重な経験を活かし、優良農地を未来に伝える取組や、自身の職歴や主婦の目線を活かし、地産地消や食育などにも寄与したいと考えています。

大船渡市農地利用最適化推進委員の応募状況（中間公表）

【応募状況】

No.	応募者									
	氏名	住所 (地区名)	職業	年齢	性別	経歴	農業経営状況	認定農業者等の 該当・非該当	農業委員への 推薦・応募	応募理由
7	及川 孝子	三陸町 越喜来	無職	63	女	S57.6～H1.2 株式会社ヤマサカ H2.7～R6.1 有限会社大船渡総合運輸 H6.3～R9.3 有限会社鹿尻島屋 H19.4～H23.3 一般社団法人大船渡市観光物産協会三陸 町観光センター H21.3～現在 浦浜南区自治会女性部役員 H24.8～H26.11 有限会社三陸とれたて市場 H29.4～R5.3 一般社団法人大船渡市観光物産協会三陸 町観光センター R5.3.1～現在 大船渡市農業協同組合女性部副部長 R5.11.20～現在 大船渡市農業委員会農地利用最適化推進 委員	・営農年数 20年 (市内) ・主な作物 玉ねぎ、じゃがい も、きゅうり ・耕作面積 5 a	非該当	有	農地利用最適化推進委員の仕事を一期3年間してきた中で、思うような活動の推 進ができなかったため、地域の農地を見守りながら、引き続き、この仕事に従事 したいと思いました。
8	近江 カズ子	日頃市	農業	74	女	H21.2～H29.2 JA介護センター H29.3～R3.12 大船渡市地域包括支援センター R5.11.20～現在 大船渡市農業委員会委員	・営農年数 35年 (市内) ・主な作物 米、じゃがいも、 玉ねぎ、だいこん ・耕作面積 20 a	非該当	無	農業委員会委員に就任させていただいて3年目になります。 地域の農業・農地の見回り活動を行い、地域の農業の現状を知ることができまし た。人口減少や高齢化が進み、また、若者の農業離れなどもあり、耕作放棄地の 増加が懸念されます。農地の集積、集約は地形的にも難しいところもあります が、地域の資源である農地を守り、次世代に残していくために、自らも耕作を継 続し、遊休農地の発生防止、解消に向け、今後も日々の活動に尽力してまいりた いとの思いで応募しました。
9	佐藤 信一	三陸町 綾里	無職	63	男	S57.4.1～H13.11.14 三陸町職員 H13.11.15～R7.9.30 大船渡市職員	・営農年数 0年 (市内) ・主な作物 じゃがいも、だい こん、ほうれんそ う、玉ねぎ ・耕作面積 2 a	非該当	無	市役所職員として農林課農政係に通算5年5カ月間、また、農業委員会事務局に 1年間勤務し、農業振興及び農地調整の事務を担当しました。 また、本年2月から自宅農地2アールで露地野菜の耕作を始め、今後も自宅の遊 休農地20アールを利用して、耕作面積の拡大に取り組んでいるところでありま す。 これまでの知識と経験を生かし、推進委員として、当市の地域計画に基づいた遊 休農地の発生防止・解消や担い手への農地利用の集積等の推進により、優良農地 の保全活動に取り組んでいきたいと考えています。
10	岡崎 賢治	三陸町 吉浜	農業	69	男	S50.4～S53.4 新日本製鐵株式会社君津製鉄所 S53.4～S56.3 総武自動車整備工場 S56.11～S59.3 盛岡いすゞモーター株式会社 S59.4～S62.3 村上モーターズ S62.4～R6.2 西村自動車整備工場	・営農年数 39年 (市内) ・主な作物 米（ひとめぼれ） ・耕作面積 26 a	非該当	有	私は製鉄所や自動車関連工場での勤務を通じて培った責任感と現場対応力を生か しながら、39年間にわたり水稲栽培に従事してまいりました。東日本大震災では 水田被害を経験し、農業の維持・再生の重要性を強く実感しております。農業者 としての経験と地域農業への理解を基に、担い手の確保や農地の有効活用、農業 振興に貢献したいと考え、大船渡市農業委員会委員に応募いたしました。
11	金 典夫	立根	農業	70	男	S49.4.1～R8.2.28 大船渡市農業協同組合 R2.11.20～現在 大船渡市農業委員会農地利用最適化推進 委員	・営農年数 40年 (市内) ・主な作物 小枝柿、一般野 菜、わらび ・耕作面積 15 a	非該当	無	農地利用最適化推進委員として、これまでの経験を活かして、農地の許認可に係 る現場調査、農地等の利用最適化に係る担当地区の現場活動業務と農業委員と連 携した農地パトロール等の現場活動や相談業務を積極的に取り組んでいきたいと 考え、応募いたしました。